

第21回

'10選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2010年1月24日 (日)
 - コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡西区・ホテルクラウンパレス北九州
折り返し 32.8km
- 一般の部 5 区間 高校の部 6 区間



トップでテープを切る天満屋のアンカー・中村友梨香

一般の部

岡山勢ダブル優勝 天満屋が底力発揮で3回目

天満屋が2区で抜け出し首位を譲らず15年ぶり3回目の優勝を飾った。序盤から安定したレース運びをみせた。首位と3秒差の2位でたすきを受けた2区・泉有花が先頭に立つと、3区の栗栖由江が区間賞の走り続いた。4区・浦田佳小里はタスキを受けるや、すぐさまトップスピードに乗った。腕を横に大きく振り、軽快なストライドで飛ばす。後半もペースを落とさず、区間賞の走りでもリードを広げた。大会当日の朝に発熱し強行出場した北京五輪マラソン代表の5区・中村友梨香も底力をみせ、最後は2位に39秒差でトップを守り抜いた。

優勝候補の三井住友海上は故障明けの1区・橋本歩が首位と41秒遅れの8位で2区につないだ。終盤に追い上げをみせて、最終5区で山下郁代が区間賞の走りでも2位に。十八銀行は1区・林明佑美が9位と出遅れたものの、3区・西見陽子と4区・野上恵子が奮起し2年連続で3位に入った。

中村友梨香・天満屋5区「貯金に守ってもらった。すごく充実している」
浦田佳小里・天満屋4区「(アンカーの中村)友梨香にばかり負担をかけるわけにはいかない」
林明佑美・十八銀行1区「後輩に助けられていい成績で現役生活を終わることができた」

高校の部

「先輩」に真っ向勝負 興譲館が逆転初制覇

11年連続出場となる興譲館が終盤の激戦を制し初優勝した。起伏が最も激しい3区で1年生の岡未友紀が先頭を走る一般の部・天満屋の栗栖由江を得意の登りで一気に抜き去り、2区では2年生エース・赤松真弘が天満屋・泉有花の背中に迫る猛追をみせるなど、同じ岡山勢の「先輩」に真っ向勝負をしかけたのが奏功した。1年生アンカーの菅華都紀も前を走る神村学園、須磨学園を次々と抜き去り、女王の座を射止めた。

7年ぶりの優勝を狙った神村学園は、1区で田山満理が狙い通りに飛び出しトップでたすきをつないだが、2区で逆転され2位。須磨学園は5区で首位に立ったものの、最終区で崩れて3位止まりだった。地元の北九州市立は4位に終わったものの、終始上位争いを演じて沿道を沸かせた。

森政芳寿・興譲館監督「練習のつもりで、高校生らしく前半から積極的に突っ込んでいけと指示した」

田山満理・神村学園1区「優勝が目標だったが、全国(高校駅伝)は4位、きょうも2位とあと一步。この悔しさは忘れない」

有川哲蔵・神村学園監督「思い描いたプラン通りにはいかなかった」



1位でフィニッシュする興譲館のアンカー・菅華都紀